

# 2019年 福山消防出初式



一斉放水

新春を飾る恒例の福山消防出初式が1月13日、草戸町の芦田川河川敷で盛大に行われました。約2千人の参加者は、威風堂々とした分列行進から始まり、厳粛な式典、はしご乗りや実災害さながらの各種訓練を披露しました。



初期消火訓練



総合防災訓練

フィナーレでは色鮮やかな一斉放水に県防災ヘリコプター「メイプル」が華を添え、約1万人の来場者から大きな拍手を浴び、参加者は住民の安心安全を守る決意を新たにしました。

## 大規模火災を想定した合同訓練を実施

1月1日、福山地区消防組合と広島県東部生コンクリート協同組合は、芦田川浄化センターで、大規模火災時に備えた初の合同訓練を実施しました。この訓練は、新潟県糸魚川市の大火時にミキサー車が消火用水の搬送に協力したことから、昨年3月、大規模火災時の支援協定を締結したことに基づくもので、ミキサー車の性能や消防との連携時の留意点などを検証し、大変有意義な訓練となりました。



## こども「幸守りん」ゆるキャラ®グランプリ2018へ出場

ご当地ゆるキャラランキング 507体中 **116位**

広島県エントリーランキング 17体中 **7位**



「幸守りん」の出場により、防火協会連合会の活動や「幸守りん」を多くの方に知っていただくことができました。今後も市民の皆様との触れ合いを通じて、火災のないまちづくりを目指していきます。

## 西消防署新庁舎が完成

西消防署(松永町)の新庁舎が10月に完成し、11月27日、落成式が行われました。42年間の役目を果たし、生まれ変わった新庁舎は、大規模災害時に通常より多くの消防隊員を受け入れることができるなど、高機能で耐震性能を備えた庁舎となりました。今後も、市西部の防災拠点として、更に大きな役割を果たしていきます。



落成式でテープカットをする関係者



福山

# 消防だより

第274号

2019年(平成31年)2月20日

福山市防火協会連合会  
福山市沖野上町5-13-8  
TEL 928-1191

実施期間: 3月1日(金)から3月7日(木)までの7日間

## 春の火災予防運動



### 住宅防火

#### いのちを守る7つのポイント

**対策1**  
お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

**対策2**  
寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。

**対策3**  
火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。

**対策4**  
逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。

**習慣1**  
ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。

**習慣2**  
寝たばこは、絶対やめる。

**習慣3**  
ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

※消防庁ホームページから

## 住宅用火災警報器の取付け・取替えに困っていませんか?

福山地区消防組合では、住宅用火災警報器の設置・維持の促進を図るため、消防職員が無償で取付け・取替えが困難である方の支援を行っています! 詳細については、お近くの消防署までお問合せください。

注: 消防職員は、住宅用火災警報器の販売を行っておりません。

取付け・取替えの支援を希望される方は、事前にご自身で機器の準備をしてください。



### ☆春の火災予防運動における各署の主な行事☆

- 2月16日(土) 幼年消防クラブ発表会(深安) 9時30分~ 神辺文化会館
- 2月23日(土) 街頭広報(南) 11時00分~ 福山コロナワールド
- 2月23日(土) 街頭広報(北) 10時00分~ 天満屋ポートプラザ店  
イトーヨーカドー福山店
- 3月1日(金) 街頭広報(西) 17時30分~ JR松永駅周辺
- 3月2日(土) 防火パレード(東) 9時00分~ ゆめタウン蔵王店
- 3月3日(日) 山林火災合同訓練(芦品) 9時15分~ 駅家町新山付近

### ★お問合せ先★

- 消防局予防課 928-1192
- 南消防署 928-1201
- 北消防署 923-3199
- 東消防署 941-3868
- 西消防署 934-1355
- 芦品消防署 (0847)52-4400
- 深安消防署 962-1234
- 府中消防署 (0847)43-7183

平成30年度 全国統一防火標語 「忘れてない? サイフにスマホに火の確認」



カードゲーム  
「防災ダック」で学ぶ!



11月6日、駅家西支部は駅家西小学校の全児童を対象に、水消火器、煙体験など6つの訓練を実施しました。その訓練の1つに「防災ダック」というカードゲームがあります。このゲームは様々な災害のカードを見て、危険から身を守る動物のポーズをとるもので、初めは戸惑っていた児童も訓練を重ねるうちに、とっさのポーズ(判断)がとれるようになりました。高本俊徳支部長は「子どもの頃からの防災教育はとても大切です。家族で災害に備えるための家族会議ができるといいですね。これからも地域ぐるみで防災に取り組んでいきたい」と話していました。



火事ときはタヌキのポーズ



「防災ダック」の表⑥と裏

※カードゲームを貸し出します

問合せ先 芦品防火協会事務局 (0847)52-4400

防火対策はまず家庭から  
～万一の備えは大丈夫?～



火災多発シーズンを迎えた秋の火災予防運動期間中の11月14日、北消防署で北防火協会の会員を対象に「家庭防火教室」を開催しました。参加者は、天ぷら鍋を使った消火実験や消火器の使用訓練、テントに充満した煙からの脱出体験、さらに日頃見ることのない消防署内の見学などを行いました。東支部から参加された大本ヒロ子さんは「消火器の使い方や、119番のかけ方など、その手順を改めて確認することができました。いざという時に役に立たい」と話していました。



テレホンガイド  
火災等の問い合わせは

0180・9988・888番

尊い命を守るため

救急車は本当に必要なときに!

防火パレードで火の用心!!



11月10日、西防火協会は、西消防署、松永幼稚園と今津未来園の幼年消防クラブや消防団と連携し、「防火パレード」を実施しました。参加した150人と消防車10台の行進は、沿道の多くの市民の声援を受けながら、火災予防を強く呼び掛けました。津波・高潮対策に必要なものは・・・11月18日、19日大阪府津波高潮ステーションとモリタ三田工場の視察研修を行いました。初日は、津波・高潮の恐ろしさを体験することで、近い将来必ず起こると言われている南海トラフ地震では「てんでに早く高いところへ逃げる」ことなど、日頃の心掛けを学びました。2日目は、消防車の仕組みなどを研修しました。今後の各支部の防火防災への取組に大変参考となる研修でした。



秋の火災予防運動期間中  
幼年消防クラブが  
「火の用心」を呼び掛け



11月10日、約1万6千人の来場者があった福山港国際コンテナターミナル特設会場「ふくやま港まつり2018」で、南消防署、消防団、南防火協会が街頭広報を実施しました。会場では、海技教育機構の航海練習船「銀河丸」をバックに、誠信幼稚園幼年消防クラブ員51人が、元気よく大きな声で「火の用心」を呼び掛けました。また、救助工作車、はしご車、ポンプ車などの展示とともに、火災を早期発見し、我が身を守るために大変有効な「住宅用火災警報器の設置・維持管理」も大いにアピールしました。



防火は私たちに任せて



11月14日、東消防署で「東防火協会家庭防火教室」を開催しました。各支部から参加した32人の会員が、最近の火災事例、家庭内に潜む火災危険などについて研修しました。また、消火訓練、てんぷら油の消火実験、煙ハウスによる避難訓練なども行いました。この教室は毎年行っており、これまでに多くの会員が防火について学んできました。家庭から火災をなくすことはもちろん、地域においても防火のリーダーとして、その役割を担っていきます。広島県知事表彰を受賞 ～おめでとうございます～ 11月27日、広島県庁において広島県消防関係者表彰式が行われ、東防火協会会長の掛谷賢次様が消防関係労者として、広島県知事表彰を受賞されました。この表彰は、永年にわたって地域防災の向上に尽力された功績を称えるもので、心からお祝いを申し上げます。今後、ますますの御活躍を祈念申し上げます。



★防火・防災への備えは  
万全ですか?★



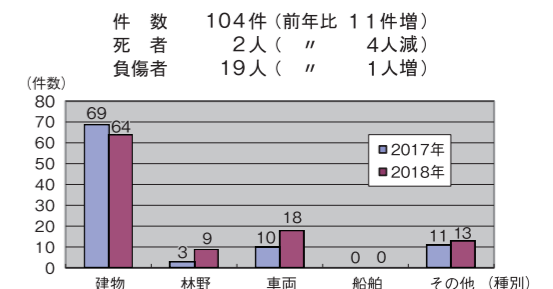
12月2日、深安防火協会中条支部は、『中条学区防犯・防災パレード』に参加しました。暖房器具などの使用も増え、火災発生の危険が高まるこの時季、学区内をパレードし「火の用心」と自然災害時の「自主避難」を呼び掛けました。★見て!乗って!渡って!★ 11月3日、深安消防署はフジグラン神辺店で『第11回消防体験inふかやす2018』を開催しました。秋晴れの休日、多くの親子連れが来場し、子どもたちは防火パズルや防火衣の着脱、消防車等への乗車、ロープ渡過、放水などを体験しました。深安防火協会役員による街頭広報では、藤井勝之会長が「住宅用火災警報器の設置は済みましたか?」とチラシを配布して、火災予防を訴えました。



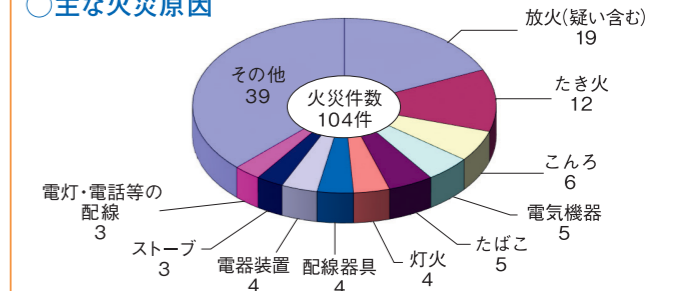
2018年(平成30年)中の火災の概況

2018年(平成30年)中の福山地区消防組合管内の火災件数は104件で、前年と比較し11件の増加となりました。火災の種別では、林野・車両火災が増加したものの、建物火災は5件、死者も4人の減少となり、特に火災をいち早く知らせる住宅用火災警報器を設置すれば、火災発生時の死亡のリスクが大幅な減少へとつながります。「大切な命を守る」ため、必ず設置し、設置後は維持・管理に努めましょう。また、火災の原因では、放火(疑い含む)が19件で最も多く、たき火、こんろが続いています。放火を防ぐため、家の周りに燃えやすいものを置かないなど、「放火されない、させない環境づくり」に努めることが大切です。また、外出時にはお隣やご近所に一言かけて、地域ぐるみの放火防止対策を推進しましょう。

○福山地区消防組合管内 火災発生状況



○主な火災原因



みんなで『防火の誓い!』

1月20日、リーデンローズで幼年消防クラブ8団体約400人が参加して「防火フェスティバル」を開催しました。各クラブは和太鼓、鼓笛などの披露や「火遊びは絶対しません」と防火の誓いを唱和し、多くの観衆に「火の用心」を訴えました。誠信幼稚園の指導者は「日頃から取り組んでいた演技ができました。これからも、子どもたちと火の用心を地域のみなさまに呼び掛けます」と話していました。

